

研究室紹介

帝京科学大学生命環境学部自然環境学科

准教授 和田龍一 研究室

● 研究室のこと

和田研究室は2011年4月に発足し、今年で9年目を迎えることになりました。現在は山梨県上野原市にある東京西キャンパスに居を構えて、運営しています。和田研究室では、主に窒素酸化物とオゾンの新しい分析手法を開発し、いろいろな環境で、市販の分析装置では難しい計測を行うことをテーマとして研究活動をしています。富士山を主な観測地として、観測地は「山麓の森林」、「5合目の沿道」、「富士山頂」に大まかに分類されます。これら観測地は同じ富士山ですが、全く環境が異なりそれぞれの場所で特徴的な濃度変化を示し大変興味深いです。

和田研究室の研究方針は、「一生懸命やる」です。研究室の学生は必ず具合が悪くなる修行のような富士山頂での観測作業や、膨大な富士山麓森林の観測データの処理を一生懸命（文句は言いながら）行っています（でも文句をいうと怒られます）。

当研究室を卒業した学生の進路は、環境分析に関する会社が多く、また中学校や高校の教員の道を選ぶ者もいます。

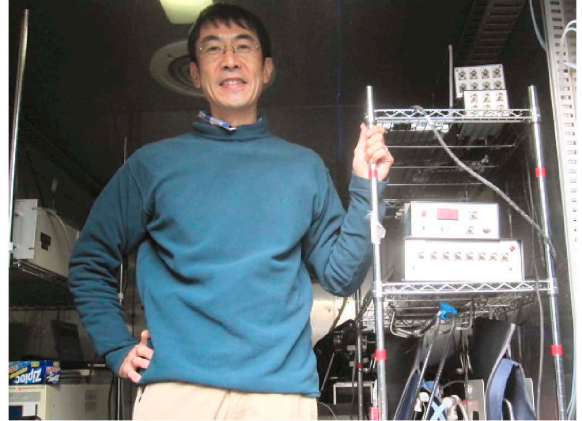
● 日々のこと

和田研究室のゼミは週に1回水曜日の午後にあります。研究室には毎年3年生後期から学生が配属され、4年生、3年生、合わせて20名ほどいます。和田准教授の指導は厳しく、しっかり準備していない学生は必ずやり直しになります。ゼミでは発表に対して必ず質問をするというのが和田研究室の約束です。はじめは戸惑っていましたが、いまでは普通の講演会でも積極的に質問するようになり、講演してくださった先生方に褒められています。

和田研究室には懇親会が多くあります。特に本学の東京西キャンパスにはバーベキューができるスペースがあり、バーベキューが好きな和田准教授は、他大学の先生の講演会の懇親会と称しては必ず毎年バーベキューを行っています。バーベキューには他の研究室の学生も集まり、とてもにぎやか(?)になります。猟師さんから頂いた近隣で取れた野生のシカの肉を持ってきてくれた学生もいました。

和田研究室では、今年熱海で初めてゼミ合宿を行いました。熱海では研究発表会を行い、最優秀発表者には和田准教授が選ばれた「WADA LAB」の刺しゅう入りの皮の定期券入れが贈られました。皆賞品欲しさに、ものすごくがんばりました。

(学部4年生 N. S.)



経 歴

静岡県生まれ
 1994年 北海道大学 理学部 卒業
 1997年 北海道大学 地球環境科学研究科 修了
 1997年 住友化学工業(株)基礎化学品研究所
 2007年 英国ブリストル大学 化学科 Ph.D.
 2007年 英国リーズ大学 化学科 研究員
 2009年 名古屋大学 太陽地球環境研 研究員
 2011年 帝京科学大学 自然環境学科 講師
 2015年 帝京科学大学 自然環境学科 准教授
 大気環境学会編集実務委員



富士山麓森林の観測タワーにて



キャンパスでのバーベキューの様子



卒業研究の発表会終了後 研究室にて